

授業科目名 <英訳>	西洋史学(特殊講義) European History (Special Lectures)			担当者氏名	人文科学研究所 准教授 王寺 賢太				
配当学年	3回生以上	単位数	2	開講期	前期	曜時限	金2	授業形態	特殊講義
題目	アルチュセールのルソー論を読む								

[授業の概要・目的]

20世紀フランスのマルクス主義哲学者ルイ・アルチュセールは、『ルソーとその先行者たち：17・18世紀の政治哲学』と題された1965年から1966年の高等師範学校における講義で、近代自然法思想（契約論）の系譜の上でルソーの『人間不平等起源論』と『社会契約論』を考察している。そのうち、『社会契約論』講義は、1967年に刊行されたアルチュセールの高名な『社会契約論』批判の下敷きであるが、同時に見逃せない異同を含んでいる。

本講義では、このアルチュセールのルソー講義を以下の三つの点に留意しながら読解・解説する。

フランス語を正確に読み、思想的な解釈を行う力を身につけること。対象とするテキストはもともと講義ノートにもとづくもので、平明な言葉で綴られている。

ホブズ・ロック・ルソーと連なる近代自然法思想（契約論）の流れについての基本的な知識を学ぶこと。そもそもアルチュセールの授業は、フランスの哲学教授資格試験を準備する学生に向けられたものだった。

アルチュセール自身がルソーから何を読みとり、それをいかに自分自身の哲学に結びつけたかを理解すること。このため、必要に応じて、アルチュセールのほかのルソー論（1967年の論文、1972年講義など）も参照する。

[授業計画と内容]

本講義では、アルチュセールの講義録をフランス語で読みながら、以下のテーマについて解説を加えてゆく。

- 1) 哲学と政治哲学の関係
- 2) 17-18世紀の政治的問題設定と基本概念：自然状態、社会状態、契約という切断
- 3) ホブズ『市民論』における自然状態（戦争状態）・自然法・社会状態（主権）の問題。
- 4) ロック『統治二論』（後編）における自然状態・自然法・戦争状態・専制・所有権と契約の位置
- 5) フランス啓蒙のなかのルソーの位置
- 6) 『不平等起源論』における「純粹自然状態」論とその含意
- 7) 『不平等起源論』における「世界の若年期」および「戦争状態」についての考察
- 8) 『不平等起源論』における契約論とルソー的な歴史の理解
- 9) 『社会契約論』読解の方法について
- 10) 『社会契約論』の「深淵」：社会契約の位置と政治体の基礎の不在について
- 11) 『社会契約論』の「齟齬」I：契約の当事者たる共同体の不在
- 12) 『社会契約論』の「齟齬」II：「全面的譲渡」と「交換」
- 13) 『社会契約論』の「齟齬」III：「個別利害」と「共通利害」
- 14) 『社会契約論』の「齟齬」IV：イデオロギーと農村共同体への逃避
- 15) アルチュセールにとってのルソー：政治と歴史の問題

西洋史学(特殊講義) (2)

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・基準】

評価は平常点（訳読の担当）およびその出来で判断する。

【教科書】

授業中に指示する
読解の対象とするテキストは、コピーを配布する。

【参考書等】

（参考書）

Louis Althusser 『Politique et Histoire, de Machiavel a Marx』（Seuil）ISBN:978-2020628334（1965 - 66年のルソー講義を収録）

ルイ・アルチュセール 『マキャヴェッリの孤独』（藤原書店）ISBN:978-4894342552（1967年初出の論文「社会契約」について」を収録）

Louis Althusser 『Cours sur Rousseau』（Le Temps des Cerises）ISBN:978-2841099283（1972年のルソー講義を収録）

（その他（授業外学習の指示・オフィスアワー等））

授業参加者には、順番で訳読を担当することが求められる。平易な文体なので、フランス語初級の力があれば、十分に読める（はず）。

オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。